

# 健友ネット集会所分散会

## 友の会・職員が取り組み報告

2月11日午後、健友ネット集会所をアイプラザ一宮で開催しました。全部で28演題の発表を5会場に分かれて行ないました。

発表は、この一年間で友の会・職員が取り組ん



分散会の様子

「原発視察報告の話を聞いて、原発はいったん事故にあうと経済的にも多大な費用がかかるため、一日も早く廃止すべきだと思います」と「一日医師体験の話も聞いて、全職種へ広げられたらいいな」と思い参考になりました。」などありました。

### 分散会の報告紹介①

#### 新しい高校生一日医師体験

千秋病院 医局事務課 久保明日香

医局事務課は「新しい高校生一日医師体験」の報告をします。

千秋病院では医学部進学を目指す学生が実際の医療現場の見学や医療体験を通じて明確な目標をもち、受験勉強を頑張れるようにと高校生一日医師体験を開催してきました。今まで行

また、「利用者の希望を実現するために忘れよかったです」という感想も聞かれました。

ちやならない多職種連携の報告をきいて、ケアマネがいろいろな職種の方と積極的にかかわって支援をしっかりとやっていくという姿勢が見られてよかったです」という感想も聞かれました。

## SDHとは何か

### 職員37人が研修

1月22日、29日に入職4年目以降の職員を対象に、SDH（健康の社会的決定要因）研修を開催



SDHとは、人が病気になるのは体質などの個人的要因だけでなく、生活・社会環境などの社会的要因があるという考えです。例えば、地域の人をサポートや支援のネットワークが充実している地域とそうでない地域とでは、高齢者がうつになる割合に1・7倍の差があります。

そういった社会の差によって健康の差が出ることを、「健康格差」と呼んでいます。あえて格差と呼ぶのは、それは個人の努力ではどうしようもない、倫理的、道徳的な課題があるというメッセージも含んでいます。

研修では、社会格差・ストレス・交通・労働などSDHの10のテーマを学習しました。

また、千秋病院の無料低額診療事業を活用して生活を建て直した方の事例から、ただ病気を治すだけでなく、患者の背



長谷川誠医師による縫合体験

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いしばらく開催することができなくなりましたが、今年度は8月17日、31日の2日間に高校生一日医師体験を開催しました。今まで行

## 医療崩壊を防ぐための

### 医師増員を

医師・医学生の署名協力を



署名はネットから

日本は、人口当たりの医師数も医学部卒業生数も先進国最低の状況で、健康を壊しながらも働く医師が増え、過労死となるケースも発生しています。

今年4月から始まる「医師の働き方改革」では、医師の時間外・休日労働に上限規制が設けられますが、その上限は過労死ラインを大幅に超えるものです。また、実際は働いているのに労働時間とみなされない「名ばかり宿日直」や、教育・研究は時間外申請ができないなどの実態も報告されています。

国民が安心して医療を受けるためにも、すべての医師が健康でいきいきと働くためにも、医師の増員は不可欠です。日本の医療をまもるために、医学部の定員増や診療報酬の引き上げなどを求めて、医師や医学生を対象に署名を集めています。医師や医学生の知り合いがみえましたら、お声がけください。

## PFA S相談外来

### 千秋病院に設置

各地で発がん性などが指摘される有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）が地下水などから検出され、各地で人体へのPFAS汚染実態調査が始まっています。



「安全・安心に暮らせる北名古屋の会」が愛知県民主医療機関連合会を通じて、PFAS相談外来を設置している千秋病院へ血液検査の依頼がありました。1月27日、事前予約していた57名が採血しました。

### 医師からの声

内科 佐藤 裕子

理想を言うと、入院患者さん一人に毎日一時間くらい時間を使いたい。病気が治っていないければ治療方針の修正、治ってきたら病状に合わせて点滴や食事の調整、いつリハビリを開始するかなど、持病の薬は現状のままでも良いかグルグル悩みたいし、患者さんやご家族への説明等々で、一人一時間くらい使いた

内科 村手 孝直

世の中のシステムは複雑になり、マニュアルばかりが増えていく。マニュアル作成が犯罪符となり、どう生かすかの検討は不十分と思う。冗長なカルテ記載は要点が不明瞭で、肝心なところが抜け落ちる危険がある。専門医研修にしても、ローテーションが長すぎ

ただ、私が担当する入院患者さんは平均25人。不眠不休で働いても（不眠不休では働かないが）、1人に1時間使うと、1日かけても仕事が終わらない。切実に、医師が増えしてほしい。